

一二九六番

今いまつく作る 斑まだらの衣ころも 面影おもかげに 我われに思おもほゆ いまだ  
着きねども

一二九七番

紅くれなるに 衣染ころもそめまく 欲ほしけども 着きてにほはば  
か 人ひとの知しるべき

一二九八番

かにかくに 人ひとは言いふとも 織おり継つがむ 我わが  
機物はたものの 白しろき麻衣あさころも

一二九九番

あぢ群むらの とをよる海うみに 舟ふねう浮うけて 白しら玉たま探とると  
人ひとに知しらゆな

一三〇〇番

をちこちの 磯いその中なかなる 白しら玉たまを 人ひとに知しらえず  
見みむよしもがも

一三〇一番

海神わたつみの 手てに巻まき持もてる 玉たま故ゆゑに 磯いその浦うら廻みに  
潜かづきするかも